



週間情報



No.0536

発行日 令和5年10月3日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

両会の動き

◆ 事務局職員の人事異動

全国消防長会

令和5年10月期の本会職員の人事異動について、下記のとおりお知らせします。

記

1 令和5年9月30日付異動

帰任（解嘱）2名

野村 祐介 東京消防庁へ（総務部総務課総務第二係長）

藤田 友哉 東京消防庁へ（企画部企画課計画担当係長）

2 令和5年10月1日付異動

着任（委嘱）2名

東山 和也 総務部総務課総務第二係長（東京消防庁から）

児嶋 勝則 企画部企画課計画担当係長（東京消防庁から）

◆ 消防実務講習会（警防）を開催

一般財団法人全国消防協会北海道地区支部

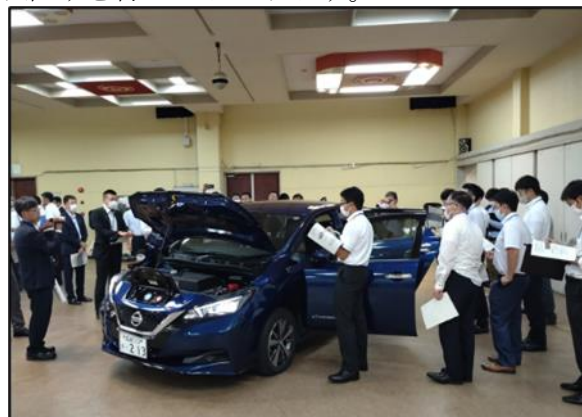
一般財団法人全国消防協会北海道地区支部では、令和5年9月21日（木）、北海道函館市において、消防実務講習会（警防）を開催しました。

当講習会では、函館日産自動車株式会社の木下大氏、加向徹氏、石田泰二氏を講師としてお招きし、「電気自動車等の構造及び危険箇所」と題して、座学で概況を説明の上、実車両を用いてご講義いただきました。

今後も、警防技術の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【概況説明の様子】



【実車両を用いた講義の様子】

◆ 消防実務講習会（予防・広報）を開催

一般財団法人全国消防協会四国地区支部

一般財団法人全国消防協会四国地区支部では、令和5年9月27日（水）、香川県高松市において、消防実務講習会（予防・広報）を開催しました。

当講習会では、一般財団法人全国消防協会四国地区支部の福山和男支部長（高松市消防局長）のあいさつの後、午前の部では、公益財団法人日本防災協会大阪事務所の砂田所長を講師としてお招きし、「防災について」と題してご講義いただいたほか、午後の部では、香川大学経済学部森貞准教授を講師としてお招きし、「SNSを活用した自治体広報について」と題してご講義いただきました。

今後も、予防・広報技術の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【あいさつの様子】



【講習会の様子】

消防本部の動き

訓練

◆ 山口県消防防災航空隊と合同訓練を実施

岩国地区消防組合消防本部（山口）

岩国地区消防組合消防本部では、令和5年9月7日（木）、蜂ヶ峯防災広場において、山口県消防防災航空隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、林野火災時における地上部隊と航空隊との連携を強化することを目的として実施したものです。

当日は、「管内の山林で林野火災が発生した。」との想定で、当消防本部の職員が同航空隊のヘリコプター飛来に伴う広報活動や吹き流しの設置を行った後、ヘリコプターに設定された消火バケツへ給水活動を行い、山林に散水して消火活動を実施しました。

本訓練により、同航空隊との連携強化につながったほか、ヘリコプター支援時における活動要領について再確認することができました。

今後も、地域住民の安全・安心のために訓練を継続してまいります。



【訓練の様子】

◆ 山岳救助合同訓練を実施

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和5年9月12日（火）、箕面市消防本部、大阪市消防局航空隊と山岳救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、山林で発生しやすい救助事案を、隣接する箕面市消防本部、山岳救助事案で連携する大阪市消防局航空隊と合同訓練することで、山岳救助発生時の活動要領の確認と、各機関との連携を強化することを目的として実施したものです。

当日は、「山林で伐木作業中に樹木が倒れ、要救助者が下敷きになった。」との想定で、当消防局の特殊災害対策専門班（山林災害）である北消防署能勢町分署の部隊と、同消防本部の部隊が合同で捜索・救助活動を行い、ドローンを活用して発見した要救助者をホイストポイントまで搬送した後、同航空隊がホイストを活用してヘリコプター内に収容しました。

今後も、各種災害に対応するため、隣接市町村や各機関と訓練を継続してまいります。



【訓練の様子】

◆ 多数傷病者対応訓練を実施

西はりま消防本部（兵庫）

西はりま消防本部では、令和5年9月13日（水）、たつの市揖西町土師南山公園において、いたがき総合診療クリニック、兵庫県警察本部、認定こども園あそびの丘、播磨物産株式会社と合同で、多数傷病者対応訓練を実施しました。

当日は、「公園を散歩中の園児たちに普通自動車が突っ込み、多数の要救助者が発生した。」との想定で、兵庫県災害救急医療情報システムを活用した緊急搬送要請を立ち上げるとともに、現場指揮所の設置、トリアージ・救急処置、搬送活動を実施し、災害対応能力の向上につながりました。

今後も、関係機関と実践的な訓練を継続し、顔の見える関係を構築して、さらなる連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の建物を活用した消防訓練を実施

総社市消防本部（岡山）

総社市消防本部では、令和5年9月12日（火）、13日（水）の2日間、解体予定の建物を活用した消防訓練を実施しました。

この訓練は、解体予定の建物を活用し、災害現場に近い環境で実践的な訓練を行うことにより、安全・確実・迅速な救助技術と災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部の救助技術指導員が中心となり、ハリガンツールとエンジンカッターなどを活用したドア開放訓練を重点的に実施しました。

今後も、市民の安全・安心のため、消防力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ ひらかたパークにおいて救助訓練を実施

枚方寝屋川消防組合消防本部（大阪）

枚方寝屋川消防組合消防本部では、令和5年9月7日（木）、14日（木）の2日間、ひらかたパークにおいて、救助訓練を実施しました。

この訓練は、昨年12月に同パークで発生したアトラクション事故を教訓として、秋の行楽シーズンを前に、アトラクション事故発生時における救助活動要領の習得を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「ジェットコースターが地上約10mの地点で緊急停車した。」との想定で、同パークのスタッフと連携し、高所で足場も不安定な場所から、要救助者を安全・確実・迅速に救出する方法を確認しました。

今後も、各機関との合同訓練を継続し、救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

【ひらかたパーク】

◆ 震災時対応救助訓練を実施

印西地区消防組合消防本部（千葉）

印西地区消防組合消防本部では、令和5年9月16日（土）、17日（日）の2日間、震災時対応救助訓練を実施しました。

この訓練は、緊急消防援助隊の派遣に備えるため、活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「地震が発生し、倒壊した建物内に要救助者が取り残された。」との想定で、倒壊建物などの危険度を確認した後、検索・進入隊員の管理、狭隘空間でのスケッドストレッチャーやブルーシートを活用したパッキング要領など、要救助者を救出するまでのCSRM活動を実施しました。

また、緊急消防援助隊用のテントを設営して、翌日の訓練における救出プランの会議などをテント内で実施した後、野営訓練を実施しました。

今後も、災害現場で安全・確実・迅速な対応ができるよう、さらなる技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 多数傷病者初期対応合同訓練を実施

宮津与謝消防組合消防本部（京都）

宮津与謝消防組合消防本部では、令和5年9月21日（木）、京都府立医科大学附属北部医療センター（医療チーム）、京都府宮津警察署と合同で、多数傷病者初期対応合同訓練を実施しました。

この訓練は、「一人でも多くの命を助け、後遺症の軽減」をテーマに、多数傷病者が発生した場合に備えるため、指揮能力の向上、負傷者の緊急度・重症度の的確な判定、関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、各機関から約40人が参加し、合同指揮所とトリアージポストを設定した後、各機関が連携して、要救助者に対する救急処置と搬送活動を実施しました。

今後も、各種災害に備えるため、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 非常電源専用受電設備研修会を実施

尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和5年9月13日（水）、管内の中立電機株式会社において、非常電源専用受電設備研修会を実施しました。

この研修会は、同設備に関する知識を習得し、的確な予防規制業務につなげることを目的として実施したものです。

同設備は、火災などの災害発生時において、消防用設備等の機能が十分に発揮できるようにするための設備で、保安対策などの技術基準が詳細に規定されています。

当日は、同社の職員から、同設備の基本的な構造と保安対策などについてご講義いただいた後、製造工程を見学しました。

今後も、各種研修を継続してまいります。



【研修会の様子】

◆ 火災調査員研修会を実施

日光市消防本部（栃木）

日光市消防本部では、令和5年9月13日（水）、14日（木）の2日間、火災調査員研修会を実施しました。

これは、「予防要員育成5ヶ年計画」に基づく職員研修の一環として、火災調査能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、東京消防庁予防部調査課の職員を講師としてお招きし、火災調査の最先端の手技・手法などについてご講義いただき、火災調査員の知識と消火戦術の向上につながりました。

参加した職員から、「現場保存の重要性を実感し、今後の消火戦術に生かしていきます。」などの意見が上がりました。



【研修会の様子】



【研修会後の記念撮影】

◆ 警防隊員を対象とした予防研修を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和5年9月15日（金）、警防隊員を対象とした予防研修を実施しました。

この研修は、福祉施設の新築に伴う消防設備等の検査を、警防隊員と合同で実施することで、検査時のポイントや消防設備の構造について学び、建物実態を早期に把握し、警防活動時の能力向上につなげることを目的として実施したものです。

今後も、予防行政の高度化・複雑化に対応するために研修を継続し、警防隊員の火災予防技術の向上に努めるとともに、効果的な警防活動を目指してまいります。



【研修の様子】

その他

◆ 令和5年度「住警器等配布モデル事業」贈呈式を実施

志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、令和5年9月13日（水）、令和5年度「住警器等配布モデル事業」贈呈式を実施しました。

これは、一般社団法人全国消防機器協会社会貢献委員会が主催する「住警器等配布モデル事業」実施地区の各町内会会長に対して、住宅用火災警報器、住宅用消火器、防災品、各種啓発リーフレットを贈呈したものです。

贈呈式では、消防長から各町内会会長へ贈呈書を交付するとともに、より一層の住宅防火対策の推進を懇請しました。

また、贈呈式の後、当消防本部の職員が、住宅用火災警報器の設置位置や作動確認の方法と、住宅用消火器の使用方法などを説明した後、住宅用火災警報器の取り付け支援事業について説明しました。

今後も市民と協力して、火災を出さない地域づくりに取り組んでまいります。



【贈呈式の様子】



【贈呈式後の記念撮影】

◆ 住宅用火災警報器の設置促進ポスターの最優秀賞受賞者に表彰状を贈呈

埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和5年9月15日（金）、住宅用火災警報器の設置促進ポスターの最優秀賞受賞者に対して、消防局長から表彰状を贈呈しました。

このポスターは、住宅用火災警報器の設置・交換に関して、住民の意識高揚を図ることを目的として、管内の幸手桜高等学校と連携して制作したものです。

なお、最優秀賞は同校の校長と美術部顧問の先生に選定していただき、最優秀賞を受賞した作品の原画をA2版のポスターにして、管内（加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町）の公共施設や事業所など、約1,500か所に配布しました。



【最優秀賞作品】



【表彰状贈呈後の記念撮影】

◆ 防災フェアにおいて火災予防啓発活動を実施

厚木市消防本部（神奈川）

厚木市消防本部では、令和5年9月16日（土）、当市の大型商業施設で開催された防災フェアにおいて、火災予防啓発活動を実施しました。

当日は、同施設内のイベントスペースにおいて、当消防本部のオリジナルパネルを背景に、防火衣を着装して記念撮影ができるブースを設けました。

今後も、住民の防火意識の向上のため、各種広報を継続してまいります。



【防災フェアの様子】

◆ 手話まつりに参加し広報活動を実施

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和5年9月18日（月）、郡山駅前広場などで開催された手話まつりに参加し、広報活動を実施しました。

当日は、来場者に対して、当消防本部のイメージキャラクターである「火まもり君」が手話を披露したほか、手話通訳士とのテレビ電話を活用して、救急隊と聴覚障がい者がコミュニケーションを図る手順について説明しました。

また、手話で火災予防や予防救急を伝える手話動画を紹介するなど、当消防本部の取り組みについて広報しました。

今後も、誰一人取り残さない消防を目指して、広報活動を継続してまいります。



【手話を披露している様子】



【手話通訳士による遠隔手話の様子】

◆ 無人航空機操縦士の認定試験を実施

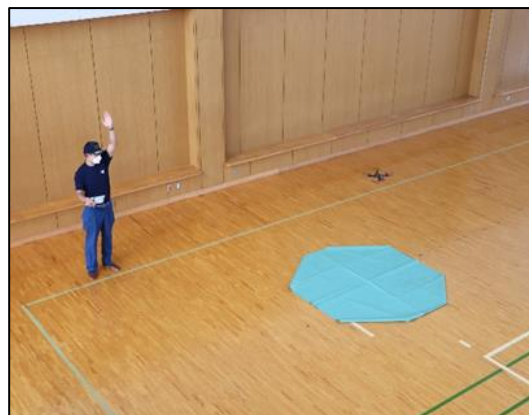
可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和5年9月20日（水）、無人航空機操縦士の認定試験を実施しました。

この試験は、無人航空機の運用・管理を安全かつ適正に行うため、操縦士の育成・操作技術の向上、災害出動時の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

無人航空機の運用により、水難救助現場における検索活動、火災現場における延焼状況の確認、各種災害における情報収集が可能となります。

今後も、災害現場などで無人航空機の効果的な運用ができるよう、認定操縦士の増員に努めてまいります。



【認定試験の様子】

消防庁通知等

◆ マイナポータル機能改修に伴う対応について（情報提供）

（事務連絡、令和5年9月20日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素から消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

火災予防分野における各種手続の電子申請等の導入については、早期の導入に向けて各消防本部における取組を推進いただいているところです。

今般、デジタル庁から、令和5年9月1日以降、マイナポータル機能改修により、申請処理状況登録の対象としている手続については、別添1のとおり、申請の際にマイナンバーカードによるログインが必須となった旨の連絡がありました。（別添1省略）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230920_yobou_jimu1.pdf) に掲載されています。

（問い合わせ先）
総務省消防庁予防課
担当：米田、原口
TEL：03-5253-7523
MAIL：yobo@soumu.go.jp

◆ 既存の病院及び診療所におけるスプリンクラー設備の設置状況等について

（事務連絡、令和5年9月22日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

消防法施行令の一部を改正する政令（平成26年政令第333号）により新たにスプリンクラー設備の設置が義務付けられた既存の病院及び診療所について、令和5年7月19日付け消防予第419号によりスプリンクラー設備の設置状況等の調査を実施したところです。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230922_yobou_jimu1.pdf) に掲載されています。

◆ 危険物規制事務に関する執務資料の送付について

(消防危第274号、令和5年9月25日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物規制事務に関する執務資料を別紙のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。(別紙省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230925_kiho_1.pdf) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁危険物保安室

担当：合庭、伊藤、嶋田
千葉、北中、瀬濤

TEL：03-5253-7524

Mail：fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

報道発表

◆ 令和5年8月の熱中症による救急搬送状況

(令和5年9月22日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和5年8月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20230922_kyuki_01.pdf) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係

担 当：小味課長補佐、門口係長、西川事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikakukyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 消防団PRムービーコンテストの応募作品に対する投票受付開始

(令和5年9月25日、消防庁)

消防団をより身近なものとして知っていただくため、平成29年度から毎年開催している「消防団PRムービーコンテスト」について、本日から応募作品への投票受付を特設サイトにて開始します。

7回目となる今回は、全国から37作品の応募がありました。みなさまのご投票お待ちしております。—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/set.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部地域防災室

平山補佐、山下係長、栃本事務官、水野事務官

TEL : 03-5253-7561

E-mail : syobodan_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令（案）等に対する意見公募

(令和5年9月25日、消防庁)

消防庁は、危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令（案）等について、令和5年9月26日（火）から令和5年10月25日（水）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230925_kiho.pdf) に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課危険物保安室 早川補佐、若菜

TEL 03-5253-7524（直通）

E-mail : fdma.hoanshitsu_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

◆ 地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段の技術ガイドラインの改訂に対する意見公募

(令和5年9月25日、消防庁)

消防庁は、地上デジタル放送波を活用した災害情報伝達手段における技術ガイドラインの改訂について、令和5年9月26日（火）から令和5年10月25日（水）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230925-boujyou.pdf>) に掲載されています。

総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課

防災情報室

担当：金子、荷見、山口

電話：03-5253-7526（直通）

Email : bgm-boujo_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供

◆ 指定店登録事業者からのお知らせ（令和5年9月分）

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、指定店登録事業者からのご案内をメールにて定期的に各消防本部へ配信しています。9月は以下の配信を実施いたしました。

お見逃しの方は、消防職員のみ公開している指定店専用Webサイト「消防優待マーケット」にてご確認ください。「消防優待マーケット」へのアクセス方法は、下記問合せ先にてご案内しています。

1 9月7日（木）配信

- (1) 【冠婚葬祭】ブライダルジュエリーの特別販売：株式会社ニューアート・シーマ
- (2) 【冠婚葬祭】結婚式場及びウエディングアイテムプレゼント：株式会社アルカンシエル

2 9月13日（水）配信

- (1) 【衣料品・スポーツ用品】各種シューズの特別販売：アシックス商事株式会社
- (2) 【飲料・食料品】冷凍食品等の特別販売：横浜冷凍株式会社
- (3) 【飲料・食料品】ロングライフパンの特別販売：有限会社アグリサポートシステム

3 9月14日（木）配信

- (1) 【飲料・食料品】リポビタンススポーツシリーズの特別販売：大正製薬株式会社
- (2) 【医薬品等】がんリスク早期発見サービスの特別販売：株式会社 HIROTSU バイオサイエンス

4 9月20日（水）配信

【冠婚葬祭】結婚式場の限定割引と特典：株式会社エスクリ

5 9月27日（水）配信

- (1) 【住宅】残価設定型住宅ローンセミナー：ミサワホーム株式会社
- (2) 【飲料・食料品】栄養ドリンク・青汁等の特別販売：富士器業株式会社

6 9月28日（水）配信

【日用品】時計の特別販売：カシオマーケティングアドバンス株式会社

【問合せ先】

業務課

担当：石井健一、茂呂

メール：zaimu-5@fcj.gr.jp

◆ 違反是正講演等動画配信事業（オンデマンド配信）

主催：一般財団法人日本消防設備安全センター

後援：全国消防長会

日本消防設備安全センター（以下「安全センター」という。）では、平成14年度より全国市町村の消防職員が推進する、違反是正業務を側面から支援する機関として違反是正支援センターを設置し、違反是正推進に係る研修会等の開催や資料の作成などの事業を行っております。

違反是正支援事業の一環として、昨年度から、総務省消防庁、各消防本部等のご協力を得て、違反是正講演等の動画を配信する事業（以下「配信事業」という。）を開始し、本年度も同様の事業を実施することとしました。

多くの消防職員の方にご聴講いただき、違反是正推進の参考として頂ければ幸いです。

- 1 配信期間 令和5年10月10日(火)～令和6年6月30日(日)
- 2 申込期間 令和5年9月25日(月)～令和6年6月24日(月)
- 3 参加費 無料 ※通信料は、ご自身の負担となります。
- 4 募集対象 消防職員 ※消防職員以外の方は聴講できません
- 5 講演内容及び講演者
 - (1) 「予防行政の動向①」 総務省消防庁予防課
～最近の火災を踏まえた違反是正に関する対応について～
 - (2) 「予防行政の動向②」 総務省消防庁予防課
～最近の火災を踏まえた防火管理に関する対応について～
 - (3) 「違反是正の推進に係る取り組み」 札幌市消防局
 - (4) 「川崎市消防局の取り組み」 川崎市消防局
 - (5) 「木造市場等の火災予防対策について」 北九州市消防局
- 6 令和4年度消防法令違反是正事例発表会 事例発表動画（順不同）
岩見沢地区消防事務組合消防本部・青森地域広域事務組合消防本部・松本広域消防局・豊川市消防本部・彦根市消防本部・吹田市消防本部・安来市消防本部・徳島市消防局・菊池広域連合消防本部
- 7 違反是正教養動画
札幌市消防局
※ 配信期間中は、令和3年度違反是正事例発表動画（令和4年度配信事業）もご聴講いただけます。
- 8 聴講方法
 - ・聴講を希望される方は、安全センターホームページから登録をしてください。
 - ・配信及び聴講要領については、登録者に対し個別にメールにて送付いたします。
 - ・登録者については、配信期間中いつでも聴講可能です
- 9 違反是正講演会等動画配信事業ページ
https://www.fesc.or.jp/ihanzesei/zesei_symposium/index.html
- 10 問い合わせ先
日本消防設備安全センター 企画研究部 違反是正支援センター
E-mail: am-fesc@fesc.or.jp



◆ 令和5年度危険物事故防止対策論文募集について

消防庁・危険物保安技術協会

危険物を取り扱う事業所や消防関係行政機関等で取り組まれている事故防止や安全対策の活動などについて論文を募集します。今年度のテーマ、または、危険物に係る事故防止や安全対策など、普段行っている身近な行動に関するものなど、幅広く受け付けますので、皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1 論文の内容

令和5年度主テーマ： 「最新技術（A I、ドローン、ロボットなど）を利用した危険物施設の事故防止対策に関連するもの」

危険物に係る事故防止や安全対策に関するもので、次のようなもの

- ・提言、アイデア、経験等
- ・事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法
- ・事故の分析
- ・事故防止対策・安全対策に関するその他のもの

2 応募締切

令和6年1月31日（水）必着

3 選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

4 賞

消防庁長官賞

賞状及び副賞（20万円） <2編以内>

危険物保安技術協会理事長賞

賞状及び副賞（10万円） <2編以内>

奨励賞

賞状及び副賞（2万円） <若干名>

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

5 応募方法

ア 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内で発表された場合は応募可能とします。（一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。また、著作権等の問題を生じないようにご注意ください。

イ A4（字数換算：1ページあたり40字×40行程度）1枚以上10枚以内程度としてください。なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4（1ページあたり1,600字程度）で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。

ウ 論文の概要を添付してください。

エ 論文は、「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）」及び受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail可）までお送りください。

オ 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可としますが、代表者が分かるように記載ください。

カ 論文は、返却いたしません。

6 あて先及び問い合わせ先

危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 ヒューリック神谷町ビル

Tel 03-3436-2357 <http://www.khk-syoubou.or.jp/>

協賛	全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟 電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会 公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会（順不同）
----	---

◆ 「第6回通信指令シンポジウム」を開催

第6回通信指令シンポジウム実行委員会

大会テーマ

「新たな時代が求める通信指令」～通信指令が担うべき役割～

目的

本シンポジウムは、消防の通信指令における稀な事案の経験、業務改善の取り組み、研究によって得られた知見などについて、発表、聴講、議論する場を提供することによって、消防通信指令業務の高度化を図り、もって、国民の生命、財産を守るわが国の消防業務の発展を図ることを目的として実施するものです。

- 1 実施日
令和6年3月16日（土）11時～18時
- 2 会場
すみだリバーサイドホール（東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号）
対面開催 ※後日オンデマンド配信
- 3 主催
第6回通信指令シンポジウム実行委員会
実行委員長：小田 浩（熊本市消防局 警防部長）
- 4 対象者
通信指令員、その他消防職員、自治体関係者、医療関係者、通信指令機器取扱業者、通信指令業務に関心がある者
- 5 申し込み方法
ホームページの申し込みフォームから参加申し込みをお願いいたします。
<https://tushinsinpo6.com>（10月開始予定）
- 6 参加費
4,000円
当日参加、および後日オンデマンド配信の視聴を含みます。
参加費については、参加申し込み時に銀行振込又はクレジットカード決済を選択し、手続きを行っていただきます。
- 7 開催スケジュール（プログラム編成については、変更となる場合もあります。）

11時～12時	午前の部
	開会式、基調講演
12時～13時	昼休憩
13時～18時	午後の部
	① 教育講演
	② パネルディスカッション

オンデマンド配信 一般演題
- 8 プログラム概要（出演者の都合等により、変更となる場合もあります）
 - 【基調講演】
 - ・通信指令とDX（仮）
 - 【教育講演1】
 - ・ドクターヘリと通信指令の連携が救う「いのち」
 - 【教育講演2】
 - ・通信指令における緊急度判定（仮）
 - 【パネルディスカッション1】
 - ・通信指令業務における教育・評価について
通信指令員教育における、指導者育成、評価システム、事後検証などについて
 - 【パネルディスカッション2】
 - ・挑戦的通信指令が新たな いのちを救う

～多種多様な通報（技術革新）と通信指令～

映像通信、ドライブレコーダーによる通報、SNSを活用した情報収集など、多様な通報形態をもとにした現場の可視化について

【一般演題】

9 演題募集

演題の分野は次の事項について広く募集します。

●指定演題

①パネルディスカッション（PD1）

テーマ1 「通信指令業務における教育・評価について」

②パネルディスカッション（PD2）

テーマ2 「挑戦的通信指令が新たないのちを救う

～多種多様な通報（技術革新）と通信指令～」

●一般演題

①火災、救助、多数傷病者対応

②救急対応、口頭指導、連携

③感染症対策、その他

※特に火災、救助、多数傷病者など多様な関連演題応募もお願いします。

演題応募先：<https://tushinsinpo6.com>

演題募集期間 令和5年10月2日（月）～12月27日（水）

・発表抄録は500字～1000字程度を目安に記述ください。

・締切日まで内容は修正いただけます。

・ご発表は対面またはご発表を録画した動画データの提出をお願いする予定です。動画については後日オンデマンド配信を行います。シンポジウム参加者以外は視聴できませんが、公開を前提に、個人情報等についてはあらかじめ削除いただくなど配慮をお願いいたします。

10 備考

第6回通信指令シンポジウムは対面開催で実施し、一部プログラムを除いて後日（3月下旬予定）オンデマンドにて、参加者全員が視聴できる予定です。配布資料及びプログラムは当日参加の方には会場にてお渡し、オンデマンド視聴の方には後日送付させていただきます。

【連絡先】

実行委員会 事務局長：北小屋 裕

運営事務局 株式会社ドウ・コンベンション

E-mail: tushinsympo-office@umin.ac.jp

TEL: 03-5289-7717

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 石原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。